

2月医療安全ニュース

2021年2月22日 あおもり協立病院 医療安全管理室

いつもインシデント入力して頂き有難うございます。

今回のテーマは

「ICD（植え込み型除細動器）」

の人はCT撮影できないの？」



先月から2件ほどICD（植込み型除細動器）の方のCTオーダーがありました。

1件は放射線技師が気づき設定変更後にCT撮影をし、もう1件は看護師が気づき撮影前に医師に相談し患者不利益を回避しました。2件ともGoodjobです(#^.^#)

結論から伝えると、

「ICD（植込み型除細動器）の人もCT撮影は可能です。

ただし、撮影前の設定変更が必要となります」

???何のこと???

はい、説明しますね。

ICD（植込み型除細動器）は、その名の通り機械が心拍を見ながら必要時に除細動（電気ショック的な）をかけてくれる代物です。

CT装置の放射束がICD本体にさらされると、機械が放射束を自己心拍と勘違い（オーバーセンシング）をしてしまい、除細動をかけてしまうリスクがあるのです。意識がある状態で除細動・・・。

これを回避するために厚労省やPMDA（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）では、

「本体 植込み部位にX線束を照射しないようにすること」「検査中は心拍検出機能をオフにした後モニターして撮影すること」としております。

当院での手順は・・・。

現時点ではありません。

現在、患者安全のための手順書作成中です！

それまでの間「ICD(植込み型除細動器)の放射線オーダーがされた場合、GEに連絡してください！」社名とICD手帳がわかれば助かります。

ペースメーカー協議会が発行している注意喚起文書を添付しておきます。PMは5秒以上の照射となっていますが、当院のCT装置は本体に5秒以上の照射はほぼありません。

看護師および放射線技師の方々へ

ペースメーカー、ICD(植込み型除細動器)をご使用の患者さんがX線CT検査を受ける場合には、以下のことにご注意ください。

■ペースメーカーを使用されている患者さんには 本体上に5秒以上X線を連続照射しない。

ペースメーカー本体にX線を連続的に照射すると、その間、脈が飛ぶような感覚を患者さんが感じることがあります。

ペースメーカー本体上にはX線を5秒以上連続照射しないようにしてください。やむを得ず5秒以上照射する場合には、患者さんに“両腕挙上”をさせるなどしてペースメーカー位置を照射部分か

らざらすことができないか検討する、もしくは検査中、競合ペーシングをしない状態で固定ペーシングモードに設定してください。

(注)メドトロニックInSync8040とTHERA-I(セラ-I*)シリーズは、原則として本体上を通過するX線CT検査は行わないようお願いいたします。詳細は各々2005年3月と12月に発行の日本メドトロニック株式会社「Technical Information」をご参照ください。
*セラDR-I、セラSR-I、セラVDD-I、セラD-I、セラS-I

■ICD(植込み型除細動器)を使用されている患者さんには 本体上にX線を照射しない。

ICD本体にX線を連続的に照射すると、不適切な除細動治療が行われることがあります。

ICD本体上には原則としてX線照射を行わないでください。やむを得ず照射する場合には、患

者さんに“両腕挙上”をさせるなどしてICD位置を照射部分からざらすことができないか検討する、もしくは検査中、頻拍検出機能をオフに設定してください。



ご注意ください！



ペースメーカー協議会

日本医用機器工業会内 連絡先 03(3816)5575
<http://www.pacemakercom.co.jp/index.htm>

詳細は、医薬品・医療機器等安全性情報No.213及びNo.221を参照してください。

みんなで守ろう、患者安全！

